

山崎バニラの活弁大絵巻 in 村国座



2001年、無声映画シアターレストラン「東京キネマ倶楽部」座付き弁士としてデビュー。独特の声で大正等とピアノを弾き語る独自の宝風を確立。2018年～東京国際映画祭コース部門で活弁を披露。2019年公開、周防正行監督「カツベン!」に出演。声優としてもアニメ「ドラえもん」ジャイ子役、「ポチッと菊明ピカりんキッ」ポチロー役他出演作多数。清泉女子大学のスペイン語学科卒業の経験を生かし、2021年度上半期NHKラジオ「まいにちスペイン語」でコーナーを担当。富城県白石市観光大使。2017～2019年、JR東日本クルーズトレイン「TRAIN SUITE四季島」が白石駅に到着の際、能楽堂「碧水園」にて活弁ステージを担当。パソコンで動画・音楽・アニメ・ホームページを自作する。著書に「活弁士・山崎バニラ」。

昼の部 | 忍術編

1. 活動写真 いまむかし 上映時間:13分

制作年:2011年
制作国:日本 / 監督・脚本・編集・音楽・イラスト:山崎バニラ

そもそも映画はどのように始まったのか、活弁とは何か、娯楽活動に敗れた私はどのように活弁士になったのか、などをわかりやすくご紹介。お茶をいただきながらキネトスコープの説明に耳を傾ける人々。イケメン大スター弁士の足元におひねりを置きに行く女性たち。上映中、暗がりの中でラブレターを送す不良少年。「映画を聞きに行こう」と言っていた日本独特の映画鑑賞文化を振り返る。玩具映画の「のらくろ」シリーズは必見。



2. 豪傑児雷也 上映時間:19分

制作年:1921年(大正10年) / 監督:牧野省三

千本以上の映画に主演した映画界初の大スター・尾上松之助主演。日本映画の父であり、特撮映画の父でもある牧野省三監督による趣向を凝らした特撮の数々。時代劇が作られるさらに前、「旧劇」と呼ばれた独特な映像表現にも注目。相馬の術を操る児雷也は少年少女に愛されたスーパースター。綱手姫とともに宿敵・大蛇丸との対決に臨む。見どころ満載の仇討ち話を綱手姫の視点から大正等で弾き語ります。



3. キートンの探偵学入門 上映時間:44分

制作年:1924年 / 監督:バスター・キートン、ロスコー・アーバッド

世界三大喜劇王の一人、「石の顔」と呼ばれた無表情がトレードマークのバスター・キートン作品。見事なトリック、アクロバット、パントマイム、マジックが真実のストーリーに隙間なく組み込まれた見せ場ばかりの代表作。映画技術として働くかたわら探偵修行もしている青年のある日の物語。戦前初公開時は「忍術キートン」という邦題がつけられた。映画愛にあふれたロマンチックなラストシーンまでたっぷりご堪能ください。



夜の部 | バディ編

1. 争闘阿修羅街 上映時間:36分

制作年:1938年(昭和13年) / 監督:八代駿

日本における「冒険活劇」のバイオニア、ハヤササヒゲトが自ら監督(八代駿名義)、主演したアクション映画。戦前から戦中にかけて年間160本もの低予算娯楽作品を量産し、庶民に愛された大都映画作品。新聞記者の車とカメラマンのデブ山(大岡恒重)は二人で一人前。ある発明の取材に出かけると、殺人事件に遭遇。何者かに連れ去られた発明家と令嬢の救出大作戦が始まる。



2. ローレル&ハーディ2本立て 山羊の失恋 / リバティ (2本連続) 上映時間:39分

制作年:各1929年
監督:「山羊の失恋」ルイス・B・フォスター / 「リバティ」レオ・マッケリー

ローレル&ハーディは1927年から正式にコンビを組み、日本では「極楽コンビ」と呼ばれ一世を風靡。トニー以降も約20年に渡り年間数本の製作ペースで活動が続いた。現在もキャラクターグッズが多く作られ、2019年には伝記映画「僕たちのラストステージ」が日本でも公開された。弁士がつけばあらず不思議、短編2本続けて上映すると1本の超大作に!



TICKET

4月18日(月)10:00～ 販売開始!

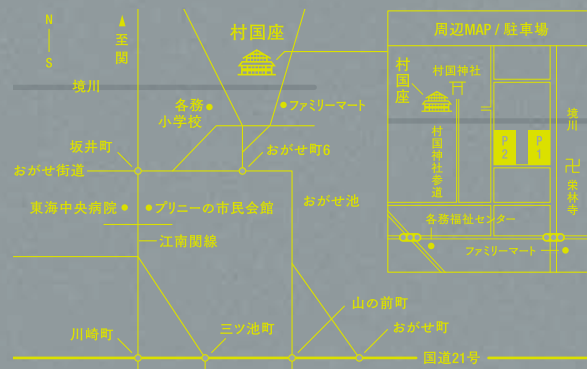
全席指定 / 3,000円 [定員] 各94名

購入方法
かかみがはら未来文化財団
(各務原市産業文化センター5階)
8:30～17:00 ※土日祝休み
チケットぴあ
Pコード:552-014 <http://pia.jp>

備考
・4歳以上のお子様から入場できます。
・会場は椅子座です。
・会場は冷暖房設備およびスリッパはありません。

村国座について

国指定重要有形民俗文化財、各務の舞台「村国座」は、明治時代に建てられた農村歌舞伎舞台で、廻り舞台を備えた舞台と客席を持つ伝統的な地歌舞伎舞台です。130年という長い時間の中で建物が老朽化したため、約3年間の「村国座 平成の大修理」を行い、2009年1月完成。



[場所] 各務原市各務おがせ町3-46-1 村国神社境内
[駐車場] 無料 周辺MAP内参照
国道21号「山の前町」又は「おがせ町」交差点を北へ約10分



かかみがはら
未来文化財団
KAKAMIGAHARA MIRAI
CULTURE FOUNDATION

かかみがはら未来文化財団とは

まちと関わる全ての人と共に各務原市の文化を創造していくことを目的に、令和4年2月に、各務原市文化協会と各務原市が共同で設立しました。「文化には未来がある。～文化でまちと人がつながる～」という方針を掲げ、「文化を活かしたまちづくり」を推進していきます。財団では、市の文化資源を活かした取り組みや、次代を担う子どもや若者が積極的に関わる取り組みを展開していきます。

一般財団法人かかみがはら未来文化財団
TEL 058-372-7231
WEB <https://www.kakamigahara-mirai.or.jp>

[主催] 一般財団法人かかみがはら未来文化財団
[共催] 各務原市 [後援] 各務原市教育委員会
[協力] 株式会社神まち / 株式会社マツダ映画社 / おもちゃ映画ミュージアム / 喜劇映画研究会

「岐阜県ガイドライン」による
感染防止対策を行っております

※新型コロナウイルス感染予防措置のため、客席は間隔を開けて配置しております。※ご来場の際は、マスク着用、手指消毒にご協力ください。※発熱、咳等の症状のある方の入場は、自粛いただきますようお願いいたします。※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者判断にて中止とさせていただきます。予めご了承ください。